

|   |                                 |                  |                   |
|---|---------------------------------|------------------|-------------------|
| 科目コード／科目名<br>(Course Code / Course Title) | スポーツと文化<br>(Sports and Culture) |                  |                   |
| テーマ／サブタイトル等<br>(Theme / Subtitle)         | 近・現代のスポーツ特有の文化的特性を多面的に理解する      |                  |                   |
| 担当者名<br>(Instructor)                      | 高峰 修(TAKAMINE OSAMU)            |                  |                   |
| 学期<br>(Semester)                          | 秋学期(Fall Semester)              | 単位<br>(Credit)   | 2単位(2 Credits)    |
| 科目ナンバリング<br>(Course Number)               | CMP2400                         | 言語<br>(Language) | 日本語<br>(Japanese) |
| 備考<br>(Notes)                             |                                 |                  |                   |

#### 授業の目標(Course Objectives)

これまでの「やる」対象であったスポーツを「知る」「考える」対象として位置づけ、近・現代のスポーツ文化について「観念」や「規範」、「技術」、「物質」といった面から理解し、批判的に考えられるようになることを目標とします。

We will regard sports that have been the subject of "doing" as subjects of "knowing" and "thinking," and understand modern and contemporary sports culture from the aspects of "ideas," "norms," "technology," and "matter," with the goal being to be able to think critically.

#### 授業の内容(Course Contents)

毎回の講義にテーマを設定し、各テーマについて、テキストやその他の資料・映像などの情報を基にしながら講義をします。講義終了時には毎回リアクションペーパーに記入してもらい、評価の対象とします。記入内容があまりにも不十分な場合は出席になりませんので気をつけてください。

We will set a theme for each class and give a lecture on the theme on the basis of information such the textbook, other materials, and videos.

At the end of the lecture, students will be asked to fill out a reaction paper in each class for evaluation. Please be aware that your attendance will not be counted if the content you write is insufficient.

#### 授業計画(Course Schedule)

1. イントロダクション「炎のランナー」を観る
2. 近・現代スポーツを理解する①: 近代スポーツとは
3. 近・現代スポーツを理解する②: アマチュアリズム
4. 近・現代スポーツを理解する③: ナショナルリズム
5. 近・現代スポーツを理解する④: コマーシャルリズムとメディア化
6. 近・現代スポーツを理解する⑤: グローバリゼーション
7. 近・現代スポーツを理解する⑥: オリンピズム
8. ジェンダー論①: スポーツとジェンダー
9. ジェンダー論②: スポーツと身体的性
10. ジェンダー論③: スポーツとセクシュアリティ
11. 各論①: ルール論
12. 各論②: 施設・用具論
13. 各論③: 障がい者スポーツ論
14. まとめ

#### 授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

毎回のテーマに関わるテキストの該当部分を事前に熟読してくる。その内容について授業開始時にクイズを出します。詳細については講義時間内に説明します。

#### 成績評価方法・基準(Evaluation)

最終レポート(Final Report)(40%)/出席および複数回課すりアクションペーパーの内容(60%)  
3分の2以上の出席をしていない場合は成績評価の対象となりません。

#### テキスト(Textbooks)

1. 井上俊・菊幸一、2020、『よくわかるスポーツ文化論』改定版、ミネルヴァ書房 (ISBN:978-4-623-08839-3)

#### 参考文献(Readings)

#### その他(HP等)(Others(e.g.HP))

基本的にはスライドを用いて講義を進め、映像資料を適宜使用します。  
スライドはPDFファイルにて講義前に「立教時間」にアップロードします。  
時間が許す限り、リアクションペーパーのフィードバックを次回講義開始時に行います。  
「受講者は講義を聞く意思をもっている」ことを前提として授業を進めます。  
講義中の退室は遠慮してください。

#### 注意事項(Notice)